

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

2012年3月期 第1四半期決算報告

2011年8月11日
第一生命保険株式会社

第一生命

決算のポイント

- 事業環境の変化にもかかわらず、営業業績は総じて順調に推移。国内市場では無配当医療保険「メディカルエール」の高水準の販売が続き、海外生保事業も予想を上回る成長を見せた
- 収益面では、第一生命、第一フロンティア合算の基礎利益が改善。有価証券評価損等キャピタル収支の悪化等により、連結経常利益は前年同期比微減となったものの、TAL連結効果等により四半期純利益は増益を達成
- 四半期純利益の通期予想に対する進捗率は高水準だが、内外のマクロ経済・金融環境は楽観できる水準とは言えず、短期的には慎重なスタンスで進捗を見守る必要があるため、期初の業績予想を据え置く

第一生命

連結主要業績

- 第一生命単体では有価証券評価損を計上したものの、運用収支が予想以上に改善したこと、事業費効率の改善により相殺
- オーストラリアTAL社に対する持分を約29%から100%に引き上げたことに伴い、段階取得に係る差益231億円を特別利益として計上。結果、第1四半期の連結純利益の進捗率は87%と高水準

(億円)

	11/3期1Q	12/3期1Q (a)	前年同期比	
経常収益	11,834	11,356	△478	△4%
第一生命単体	10,798	10,509	△288	△3%
経常利益	508	473	△34	△7%
第一生命単体	655	551	△104	△16%
当期純利益	103	322	+218	+210%
第一生命単体	238	173	△64	△27%

<参考>

	12/3期 業績予想(b)	進捗率(a/b)
経常収益	43,340	26%
第一生命単体	38,280	27%
経常利益	1,680	28%
第一生命単体	1,780	31%
当期純利益	370	87%
第一生命単体	320	54%

連結損益計算書・連結貸借対照表(要約)

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	11/3期 1Q	12/3期 1Q	増減
経常収益	11,834	11,356	△478
保険料等収入	8,655	8,308	△347
資産運用収益	2,441	2,213	△228
うち利息・配当金等収入	1,640	1,733	+92
うち有価証券売却益	490	445	△44
うち金融派生商品収益	197	14	△183
その他経常収益	737	834	+97
経常費用	11,326	10,883	△443
うち保険金等支払金	6,271	6,539	+268
うち責任準備金等繰入額	878	1,554	+675
うち資産運用費用	2,070	656	△1,414
うち有価証券売却損	294	142	△151
うち有価証券評価損	56	204	+148
うち特別勘定資産運用損	1,515	19	△1,495
うち事業費	1,075	1,114	+39
経常利益	508	473	△34
特別損益	△91	165	+257
契約者配当準備金繰入額	178	189	+10
税金等調整前四半期純利益	238	450	+211
法人税等合計	148	135	△13
少数株主利益(△は損失)	△14	△8	+6
四半期純利益	103	322	+218

連結貸借対照表(要約)

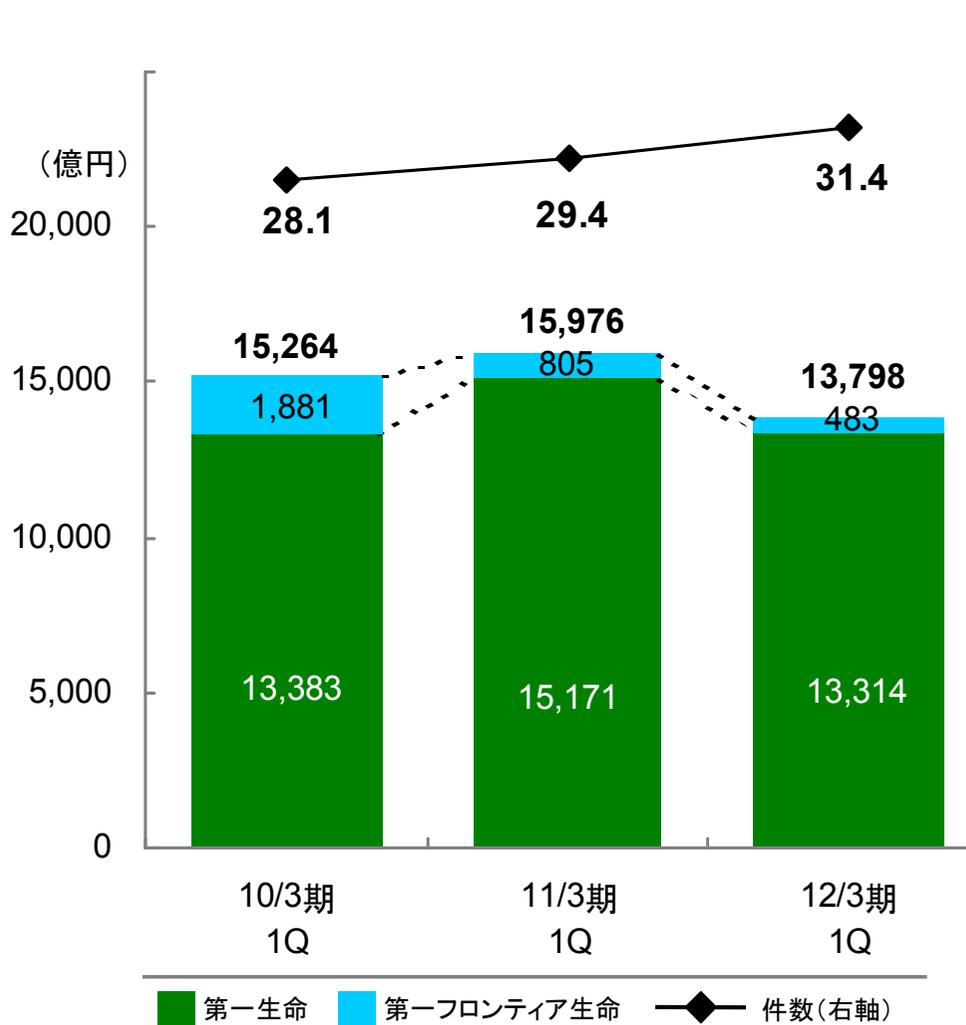
(億円)

	11/3末	11/6末	増減
資産の部合計	322,978	325,534	+2,555
うち現預金・コール	5,019	3,880	△1,138
うち買入金銭債権	2,911	2,895	△15
うち有価証券	255,977	258,568	+2,590
うち貸付金	36,279	35,223	△1,056
うち有形固定資産	12,961	12,895	△65
うち繰延税金資産	4,772	4,550	△221
負債の部合計	315,660	317,904	+2,244
うち保険契約準備金	296,419	299,685	+3,265
うち責任準備金	290,394	293,090	+2,695
うち退職給付引当金	4,200	4,271	+70
うち価格変動準備金	805	841	+35
純資産の部合計	7,318	7,629	+311
うち株主資本合計	5,489	5,669	+180
うちその他の包括利益累計額合計	1,711	1,850	+138
うちその他有価証券評価差額金	2,388	2,569	+180
うち土地再評価差額金	△651	△662	△10

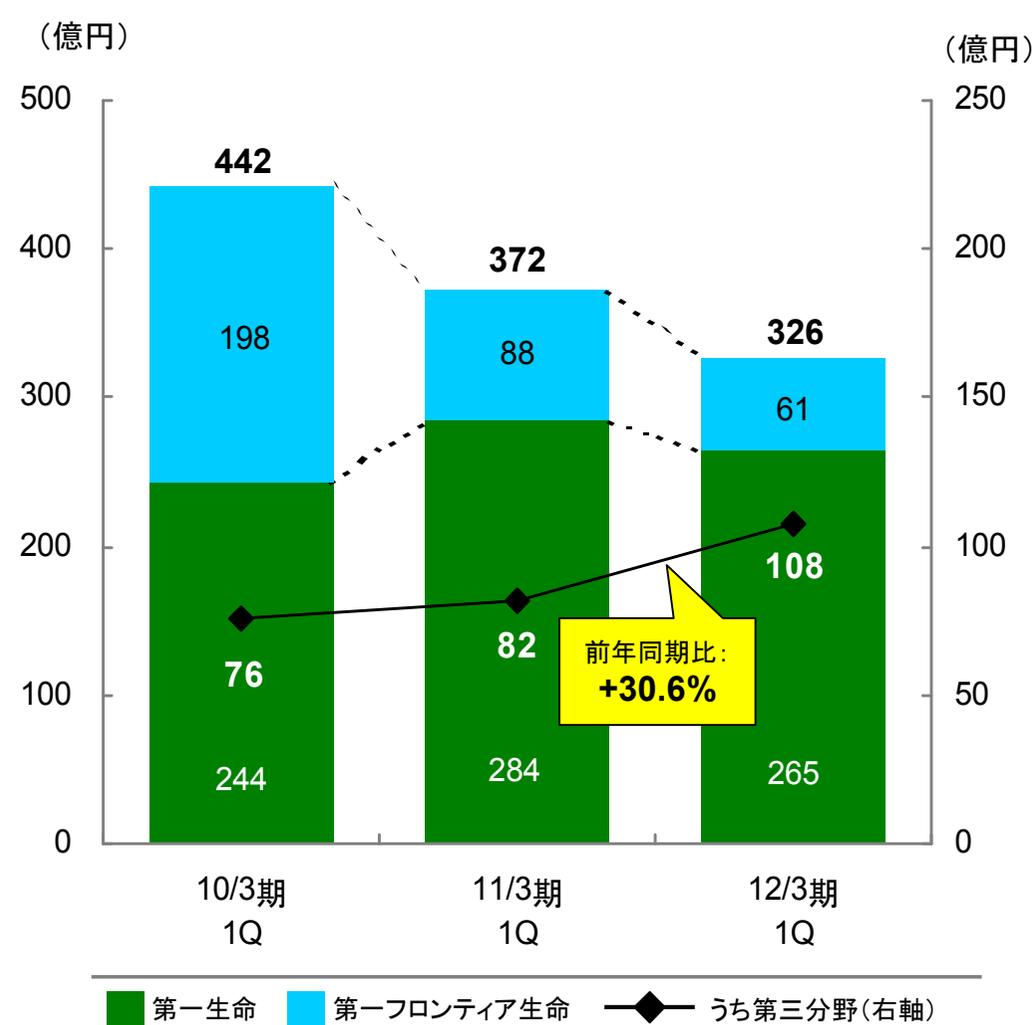
(1) 特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

新契約動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高⁽¹⁾



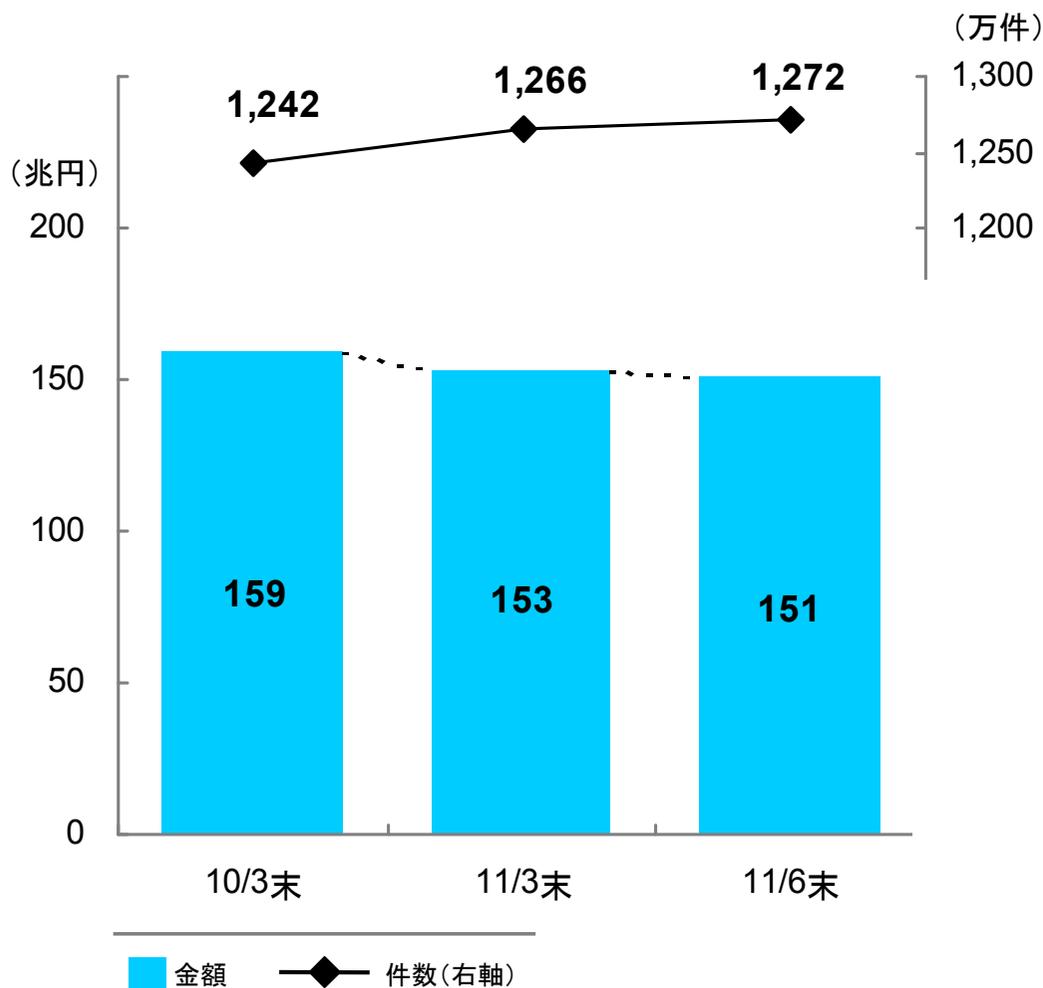
新契約年換算保険料⁽¹⁾



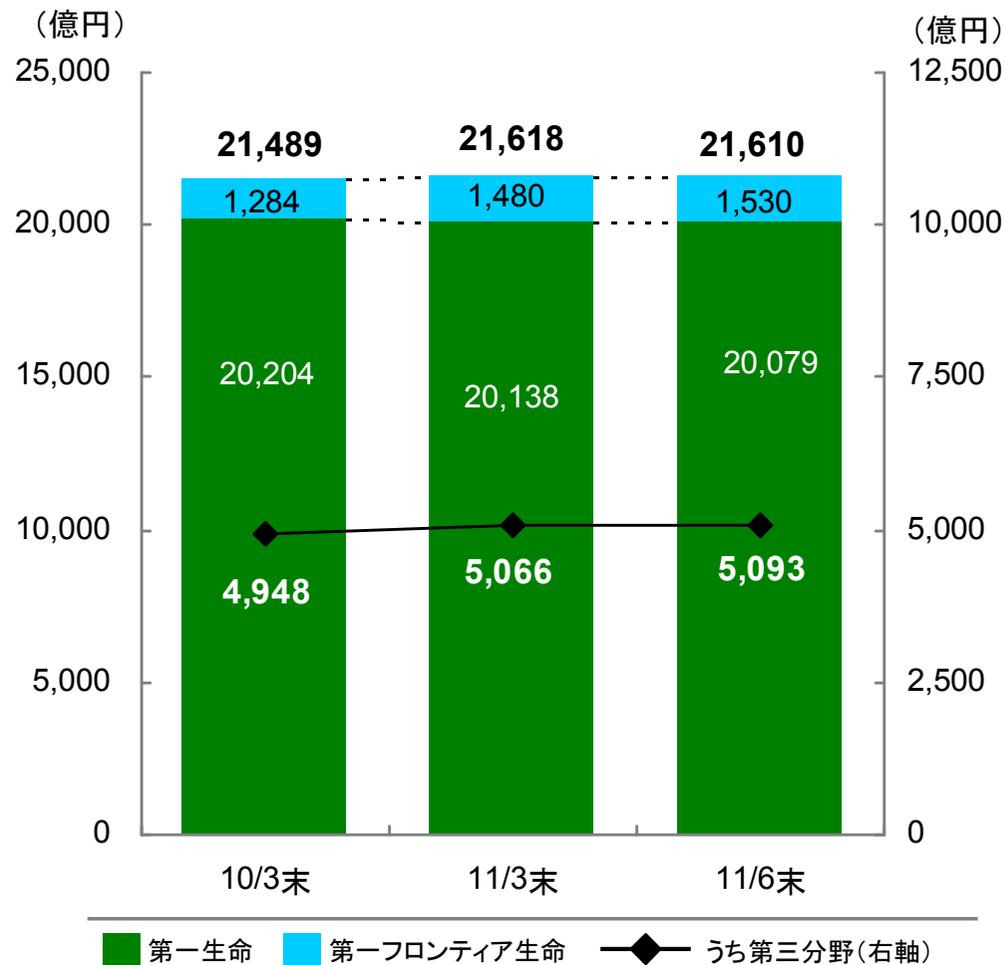
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

保有契約動向(個人保険・個人年金保険)

保有契約高(1)



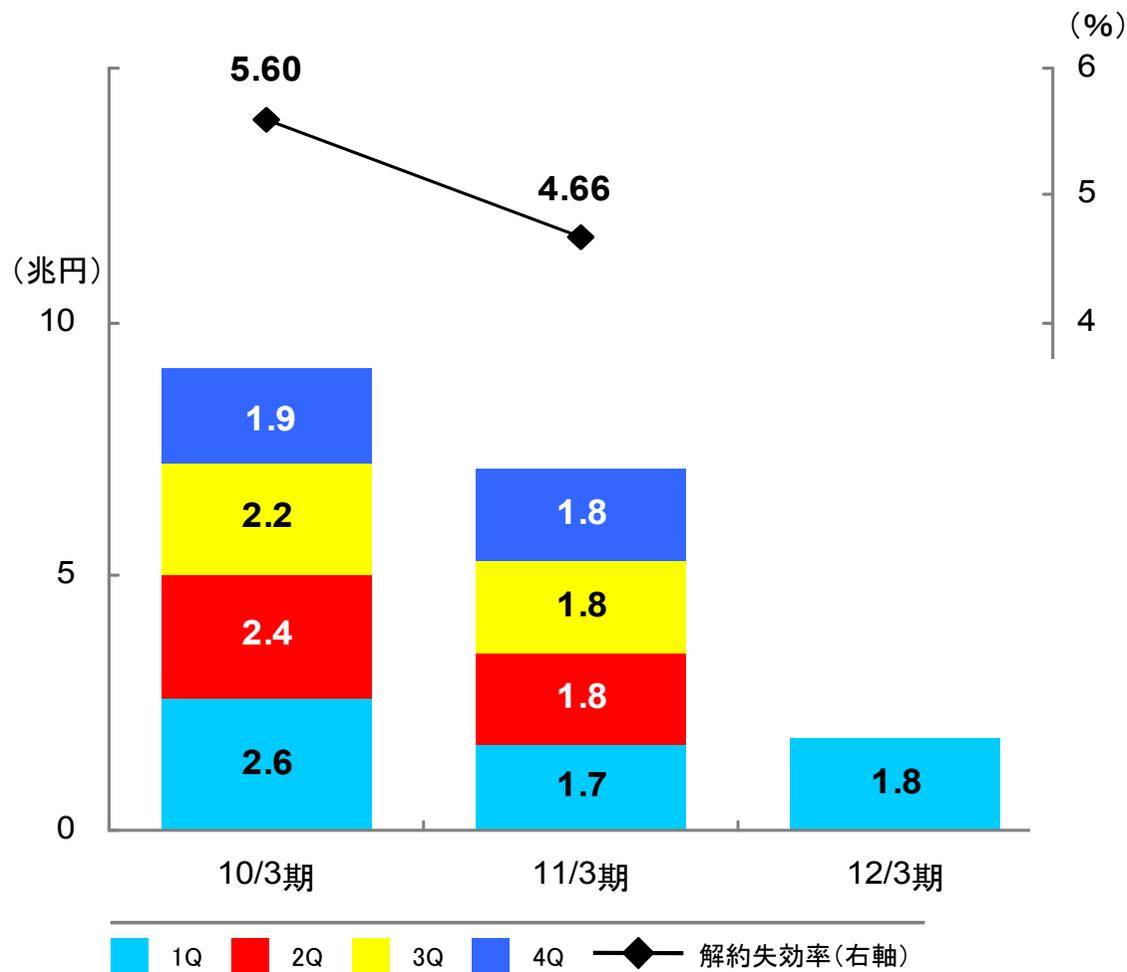
保有契約年換算保険料(1)



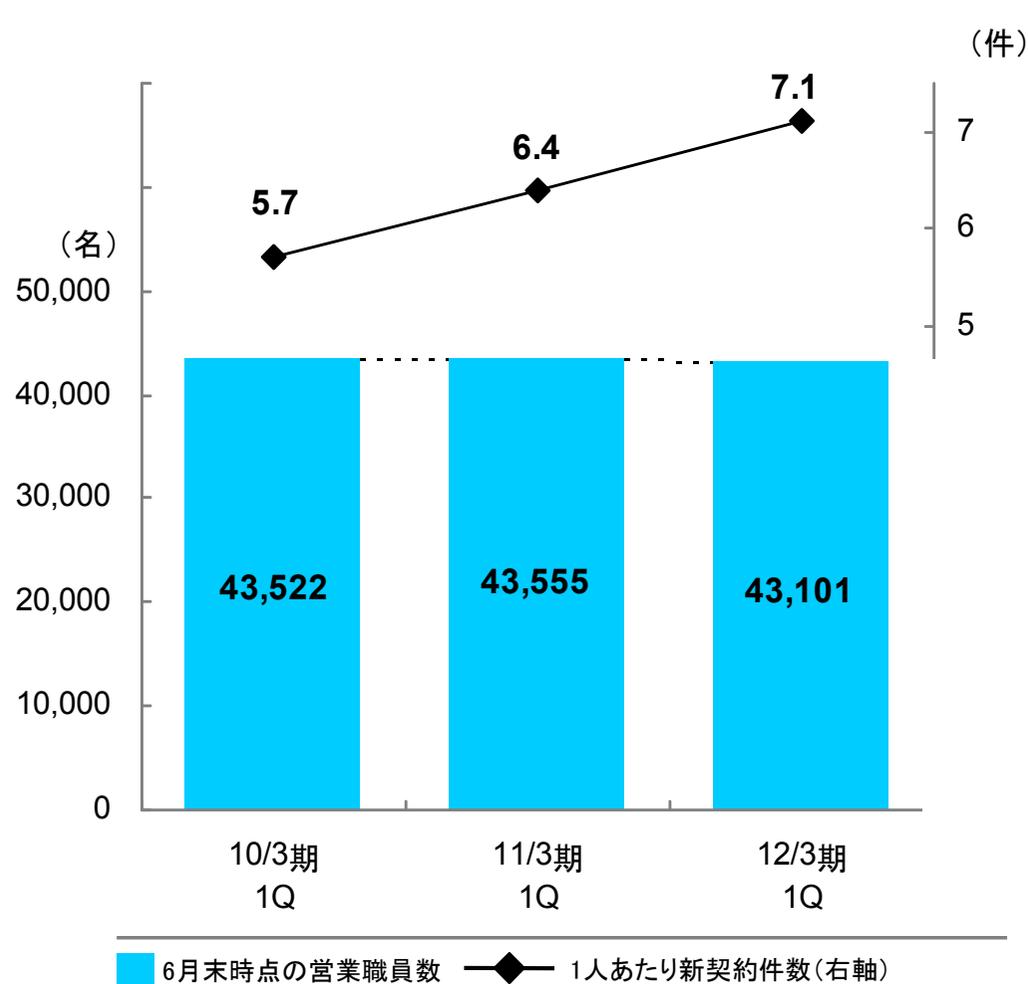
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金保険)⁽¹⁾



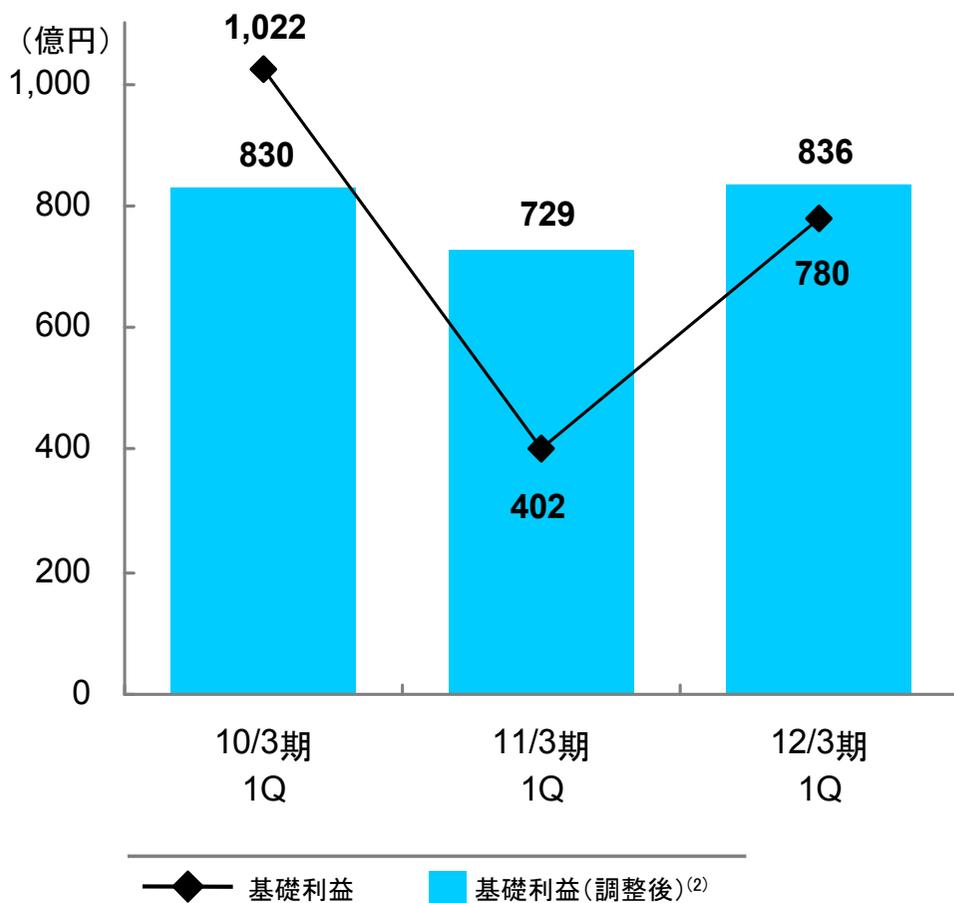
営業職員数および生産性⁽¹⁾⁽²⁾



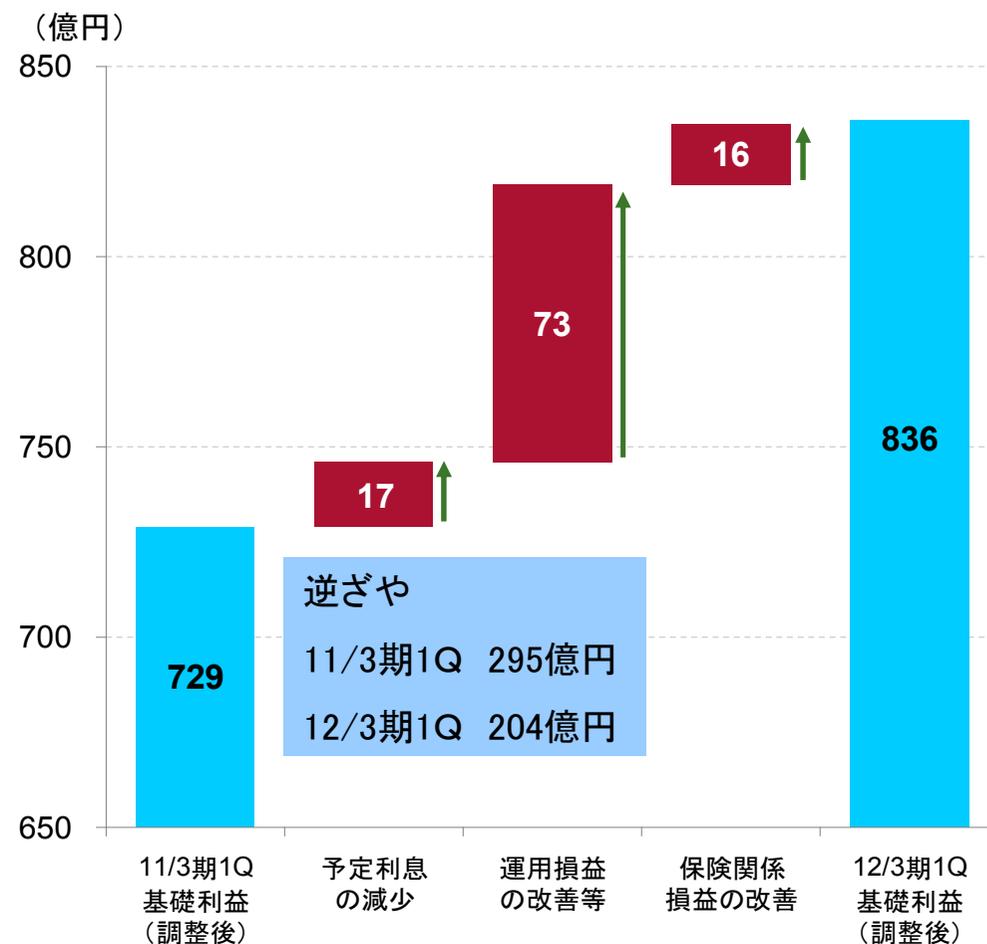
(1) 第一生命単体ベース

(2) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております

基礎利益⁽¹⁾



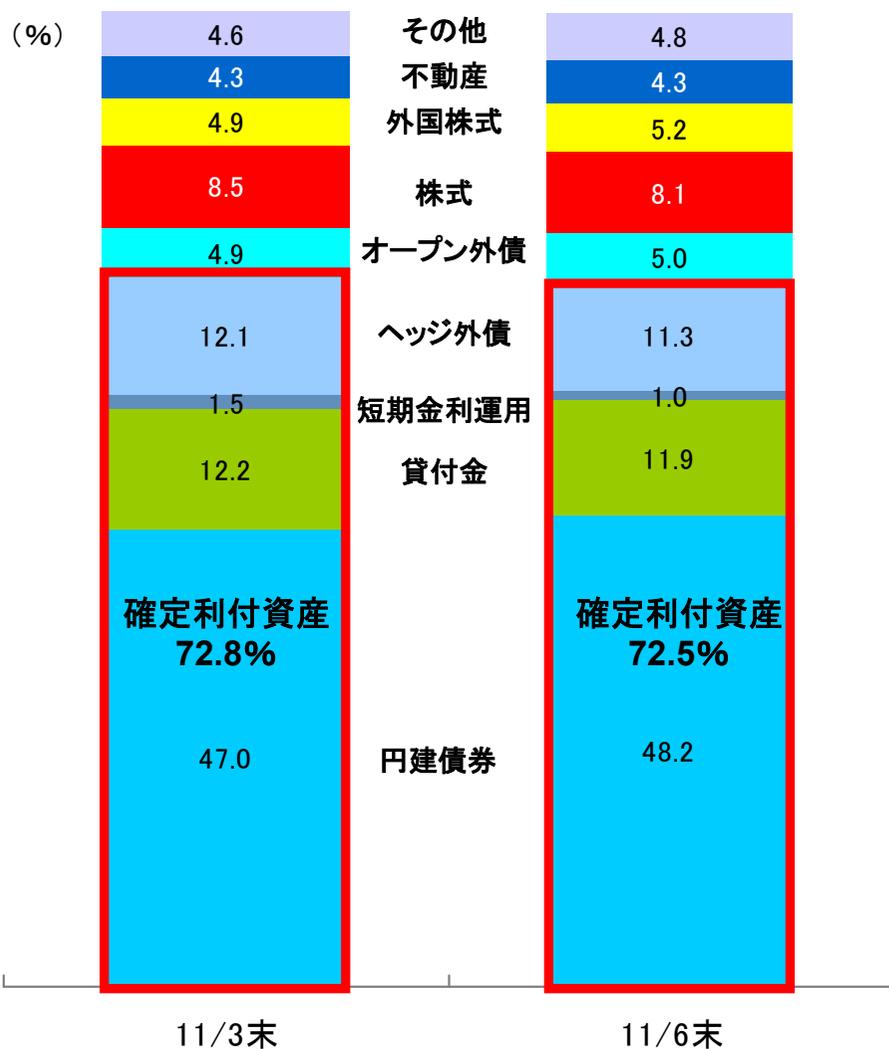
基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾⁽²⁾



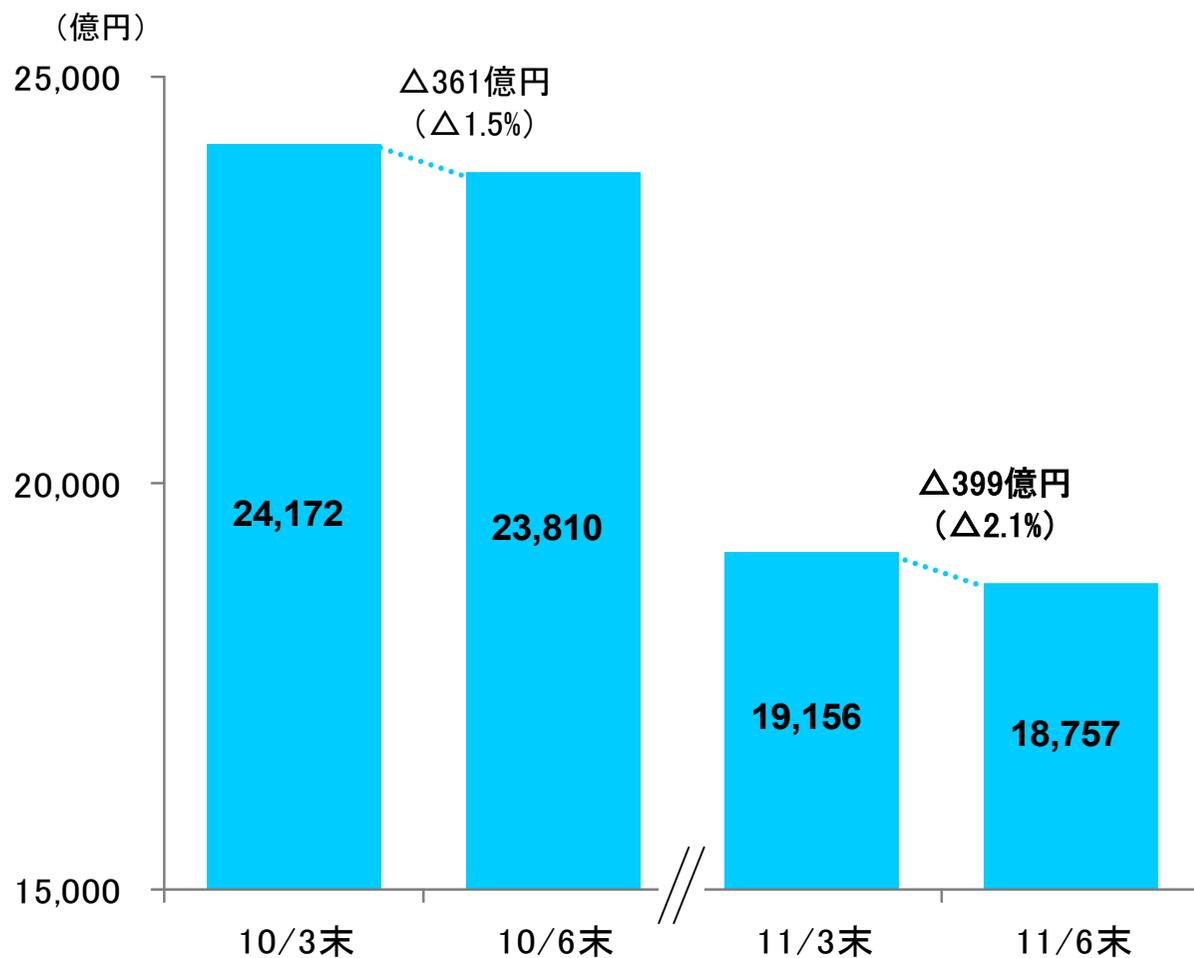
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
 (2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

一般勘定資産の状況

資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



国内株式の簿価⁽¹⁾⁽²⁾



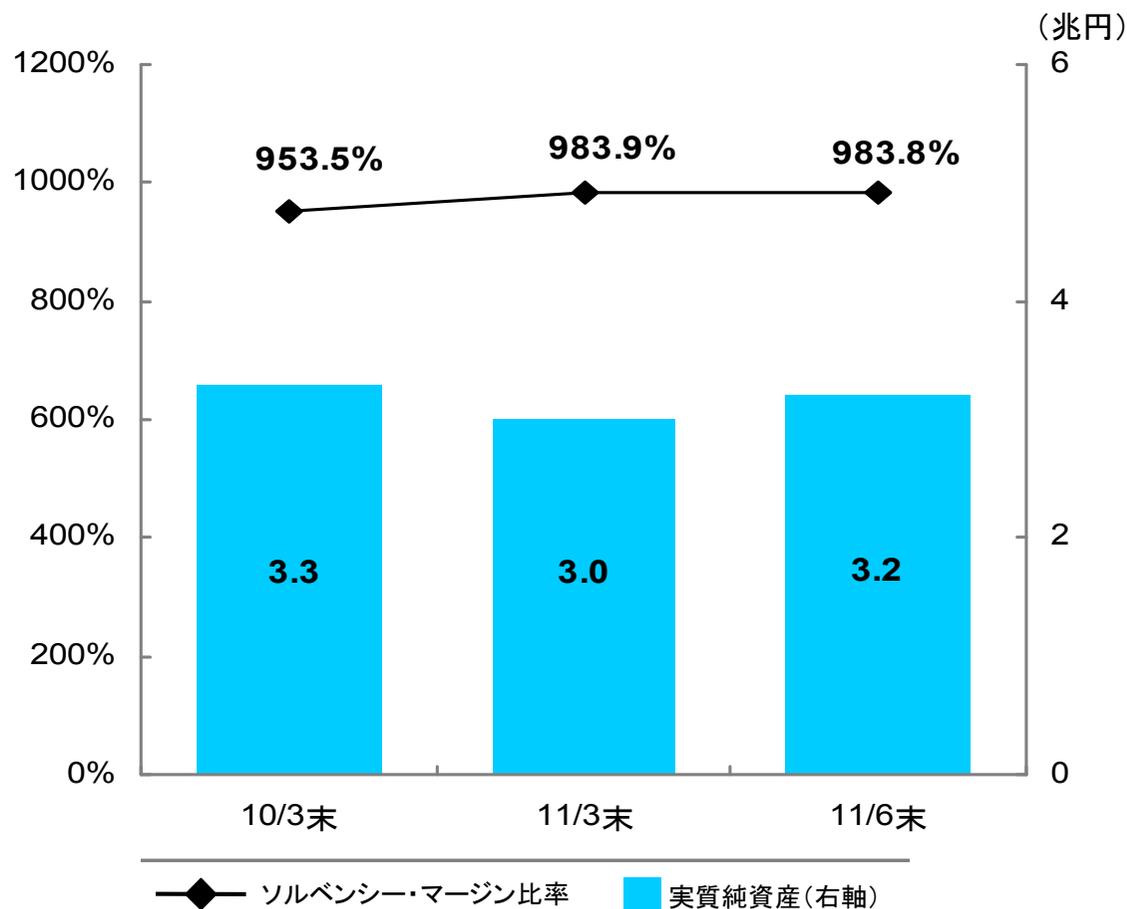
(1) 第一生命単体ベース

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

含み損益(一般勘定)⁽¹⁾

	(億円)		
	11/3末	11/6末	増減
有価証券	6,141	7,727	+1,586
国内債券	3,838	5,961	+2,122
国内株式	3,056	2,208	△847
外国証券	△804	△553	+251
不動産	205	199	△5
その他共計	6,392	7,960	+1,568

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額⁽¹⁾



〈参考〉 2012年3月期末より導入される
新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

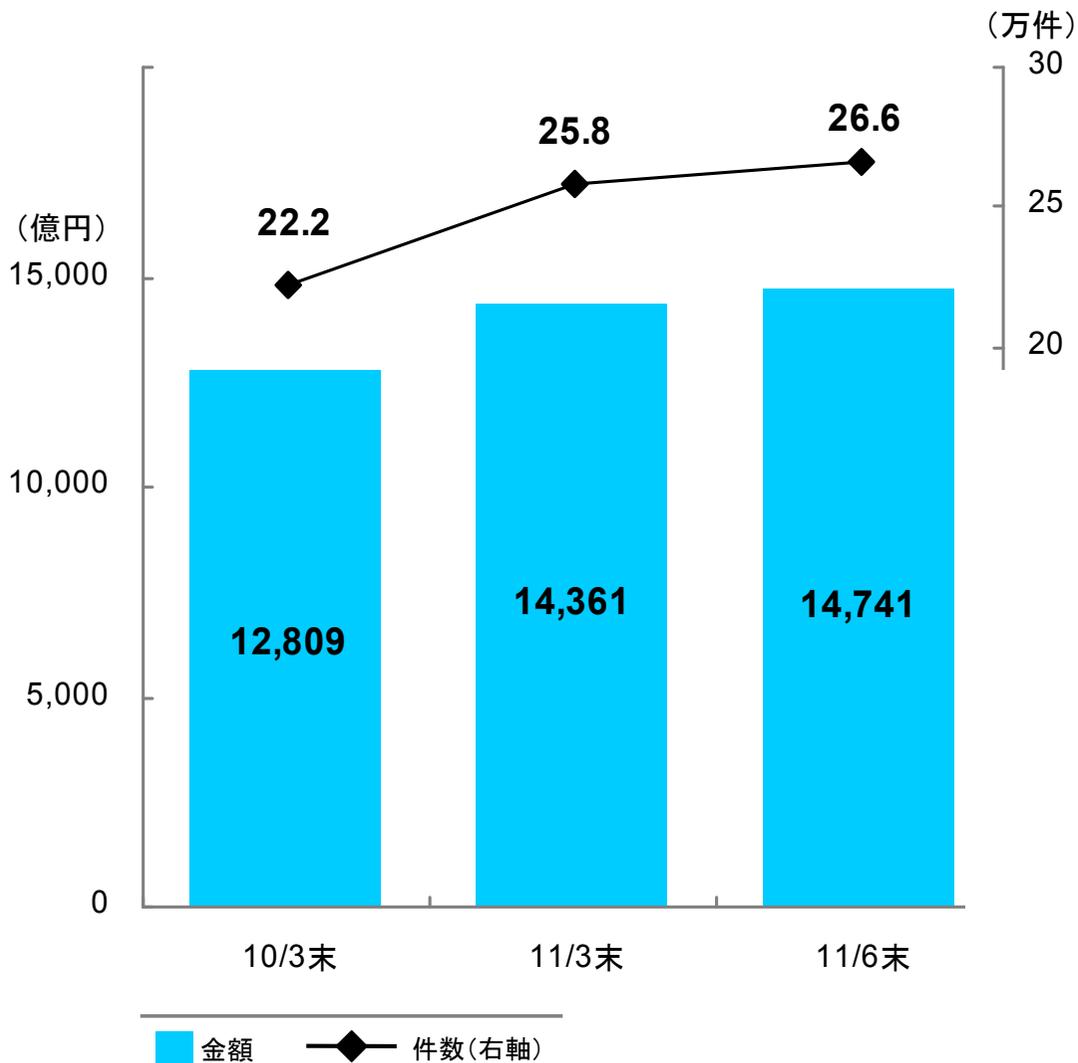
547.7% (11/3末) ⇒ 550.0% (11/6末)

(1) 第一生命単体ベース

第一生命

第一フロンティア生命

保有契約高



収支の状況

	11/3期 1Q	12/3期 1Q
経常収益	1,052	585
うち保険料等収入	920	543
うち変額商品	708	195
うち定額商品	95	238
うち資産運用収益	131	41
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	127	-
経常費用	1,195	667
うち責任準備金等繰入額	438	383
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	310	55
うち危険準備金繰入額(C)	4	46
うち資産運用費用	527	23
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	-	19
経常利益(△は損失)	△ 143	△ 81
四半期純利益(△は損失)	△ 140	△ 82
四半期純利益-(A)+(B)+(C)+(D)	47	40

第一生命

海外事業:オーストラリア

(1)社名変更

当社による100%子会社化後、TOWER Australia Group Limited⇒TAL Limitedへ社名変更(2011年6月1日付)

(2)段階取得益の発生

100%子会社化以前から保有している持分(29%)の評価替えに伴い、連結会計で段階取得益(231億円)を計上

(3)のれんの償却

期間20年で償却。年間償却額は、約33億円。

(4)営業指標

(百万豪ドル)

	10/6末	11/6末	前年比
保有年換算保険料	1,042	1,242	+19%

(5)利益指標

(百万豪ドル)

	10年4~6月 ⁽²⁾	11年4~6月	前年同期比
経常収益	435	480	+10%
うち保険料等収入	275	385	+40%
経常利益	38 ⁽³⁾	27 ⁽³⁾	△29%
四半期純利益	28 ⁽³⁾	15 ⁽³⁾	△45%
修正利益(Underlying Profit) ⁽¹⁾	22	21	△8%

(1) 修正利益=四半期純利益±(負債割引率の変化による影響)±(一部運用商品における損益計上時期のずれによる影響)±(期待運用収益と実績の差異)+(償却負担)

(2) 試算値

(3) 無形固定資産(=支配獲得時の保有契約から将来発生する利益)の償却額4百万豪ドル(10年4~6月)、6百万豪ドル(11年4~6月)控除後の数値

第一生命

2012年3月期業績予想(期初予想から変更なし)

- 当期純利益の進捗率は高水準だが、内外のマクロ経済・金融環境は楽観できる水準とは言えず、短期的には慎重なスタンスで進捗を見守る必要があるため、期初の業績予想を据え置く

(億円)

	11/3期	12/3期(予)	増減
経常収益	45,715	43,340	△2,375
第一生命単体	43,084	38,280	△4,804
第一フロンティア	2,538	4,210	+1,671
経常利益	811	1,680	+868
第一生命単体	789	1,780	+990
第一フロンティア	△11	△190	△178
当期純利益	191	370	+178
第一生命単体	169	320	+150
第一フロンティア ⁽¹⁾	△8	△171	△162
1株当たり配当金	1,600円	1,600円	±0

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	2,759	2,700程度
------------------	-------	---------

(1) 持分考慮後

第一生命

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー

- 企業価値を示すエンベディッド・バリュー(試算値)は、3月末からほぼ横ばい
- 金利低下により、保有契約価値が減少する一方、修正純資産は増加

第一生命グループ(第一生命・第一フロンティア生命)のEEV(試算値)

(億円)

	11/3末	11/6末	増減
EEV	24,403	約24,000	約△0
修正純資産	14,542	約16,000	約+2,000
保有契約価値	9,860	約8,000	約△2,000

第一生命単体(試算値)

(億円)

	11/3末	11/6末	増減
EEV	24,796	約25,000	約△0
修正純資産	15,187	約17,000	約+2,000
保有契約価値	9,609	約8,000	約△2,000

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	11/3末	11/6末	増減
EEV	1,378	約1,400	約+0
修正純資産	1,099	約1,100	約△0
保有契約価値	279	約300	約+0

(1) 2011年6月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2011年6月末、非経済前提は2011年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※ なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

参考データ

第一生命

東日本大震災の影響⁽¹⁾

■ 東日本大震災による保険金等の支払見込額

238億円

※警察庁公表の死亡者数・行方不明者数が減少したことを踏まえて修正

※6月末迄のお支払済みの金額は累計で87.6億円(うち、4月～6月累計は87.2億円)

■ 東北3県(岩手・宮城・福島)における保険金等の

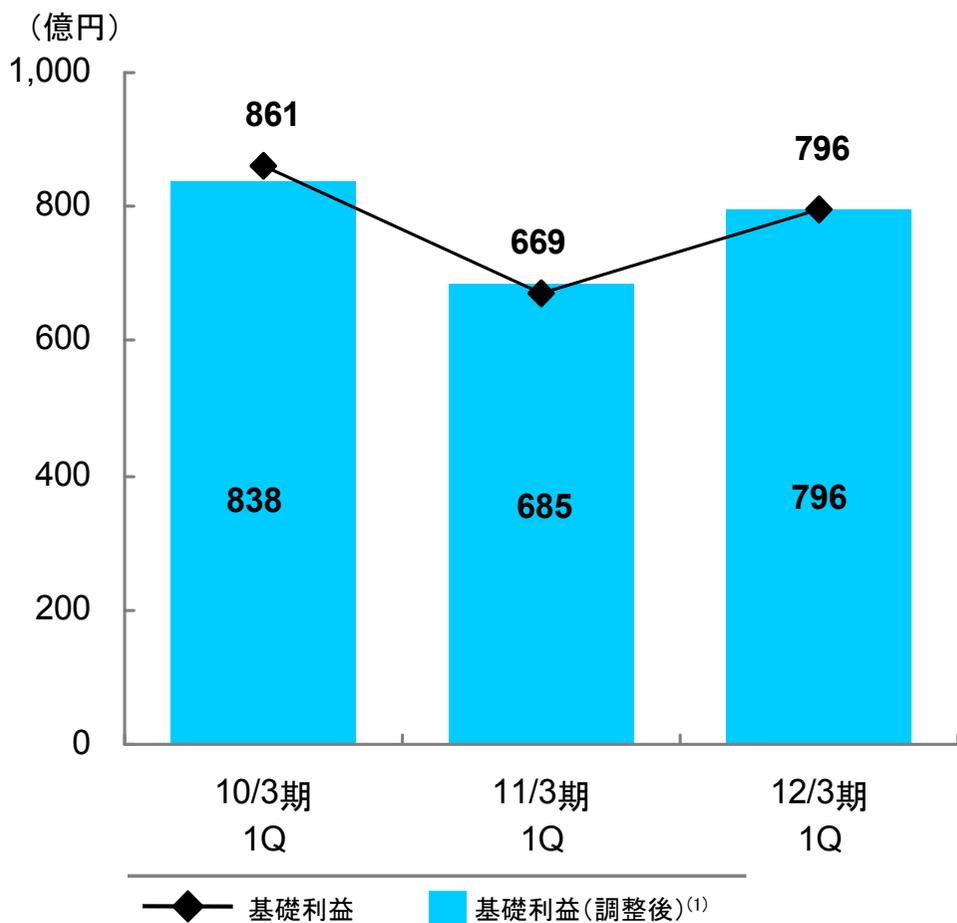
既にお支払済み及びお支払手続中の総額(個人保険分野のみ)

(震災後～6月末累計) 155億円 (前年実績47億円、対前年実績比+108億円)

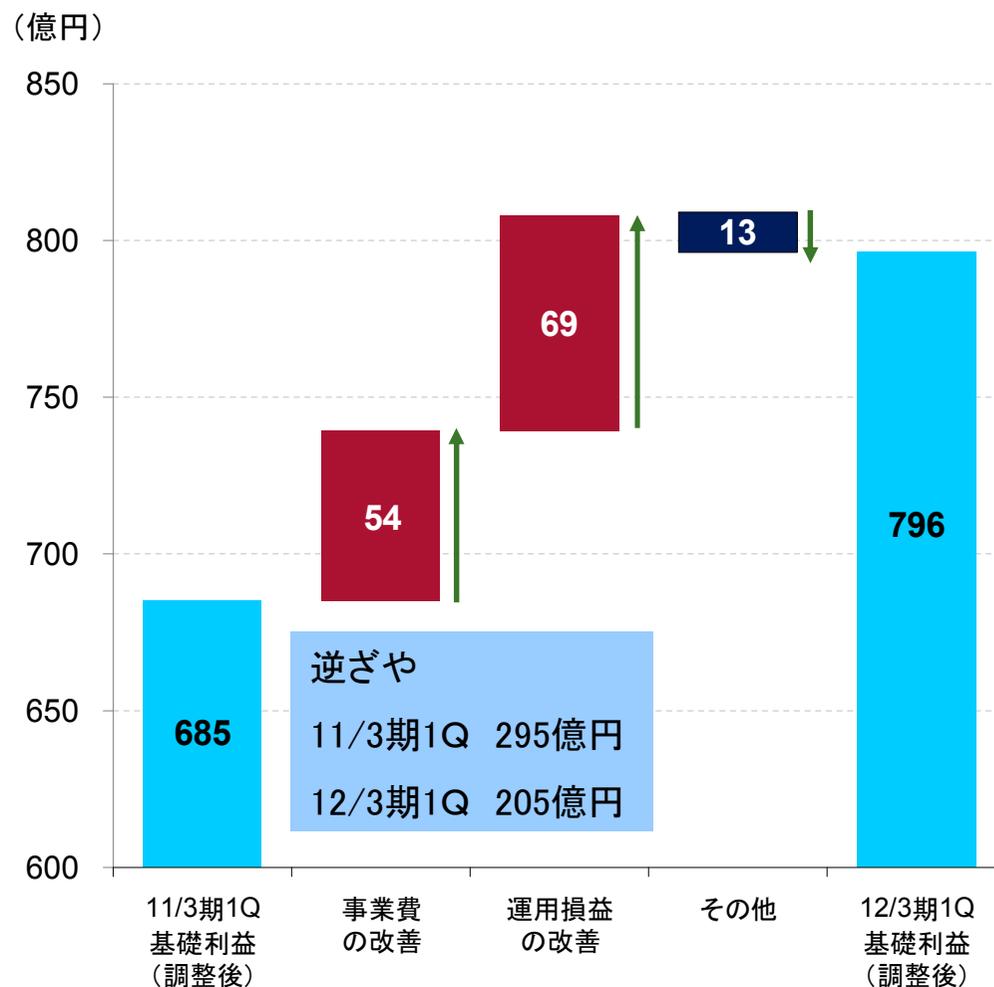
(1) 第一生命単体ベース

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

第一生命

第一生命(単体)財務諸表

損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	11/3期 1Q	12/3期 1Q	増減
経常収益	10,798	10,509	△288
保険料等収入	7,727	7,448	△278
資産運用収益	2,342	2,224	△118
うち利息・配当金等収入	1,648	1,740	+92
うち有価証券売却益	490	445	△44
うち金融派生商品収益	197	19	△178
その他経常収益	728	836	+107
経常費用	10,142	9,958	△183
うち保険金等支払金	6,078	6,096	+18
うち責任準備金等繰入額	439	1,227	+787
うち資産運用費用	1,563	658	△904
うち有価証券売却損	294	142	△151
うち有価証券評価損	56	204	+148
うち特別勘定資産運用損	989	54	△935
うち事業費	1,043	988	△54
経常利益	655	551	△104
特別損益	△91	△63	+27
契約者配当準備金繰入額	178	189	+10
税引前四半期純利益	385	297	△88
法人税等合計	147	123	△23
四半期純利益	238	173	△64

貸借対照表(要約)

(億円)

	11/3末	11/6末	増減
資産の部合計	308,696	308,095	△601
うち現預金・コール	4,671	3,389	△1,282
うち買入金銭債権	2,911	2,895	△15
うち有価証券	242,945	244,085	+1,140
うち貸付金	36,274	35,214	△1,059
うち有形固定資産	12,958	12,889	△69
うち繰延税金資産	4,751	4,528	△223
負債の部合計	301,032	300,238	△793
うち保険契約準備金	281,908	282,772	+864
うち責任準備金	275,895	277,098	+1,203
うち危険準備金	5,020	5,080	+60
うち退職給付引当金	4,183	4,253	+70
うち価格変動準備金	804	839	+35
純資産の部合計	7,664	7,856	+192
うち株主資本合計	5,928	5,960	+31
うち評価・換算差額等合計	1,736	1,896	+160
うちその他有価証券評価差額金	2,375	2,554	+178
うち土地再評価差額金	△651	△662	△10

(1) 特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

第一生命

第一フロンティア生命財務諸表

損益計算書(要約)

(億円)

	11/3期 1Q	12/3期 1Q	増減
経常収益	1,052	585	△467
うち保険料等収入	920	543	△377
うち資産運用収益	131	41	△90
経常費用	1,195	667	△528
うち保険金等支払金	191	229	+38
うち責任準備金等繰入額	438	383	△54
うち資産運用費用	527	23	△504
うち事業費	35	28	△7
経常損失	△143	△81	+61
特別損益	3	△0	△3
税引前四半期純損失	△140	△82	+58
法人税等合計	0	0	+0
四半期純損失	△140	△82	+58

貸借対照表(要約)

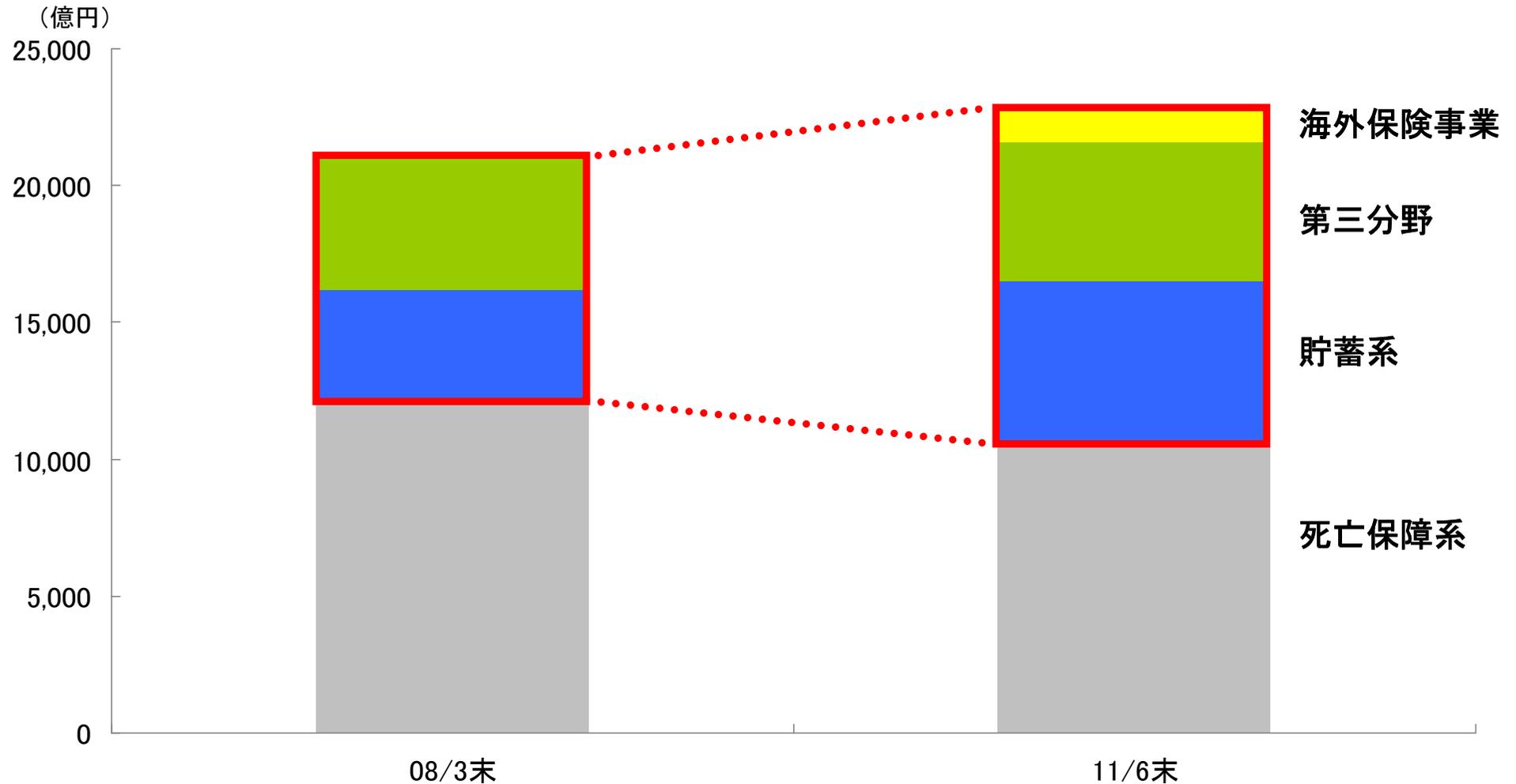
(億円)

	11/3末	11/6末	増減
資産の部合計	15,667	16,032	+364
うち現預金・コール	239	181	△57
うち有価証券	14,554	15,006	+451
負債の部合計	14,500	14,943	+443
うち保険契約準備金	14,430	14,813	+382
うち責任準備金	14,419	14,803	+383
うち危険準備金	364	410	+46
純資産の部合計	1,167	1,088	△78
うち株主資本合計	1,153	1,071	△82
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△696	△778	△82

第一生命

第一生命グループの保有契約年換算保険料⁽¹⁾

■ 成長分野における保有契約年換算保険料は、着実に成長



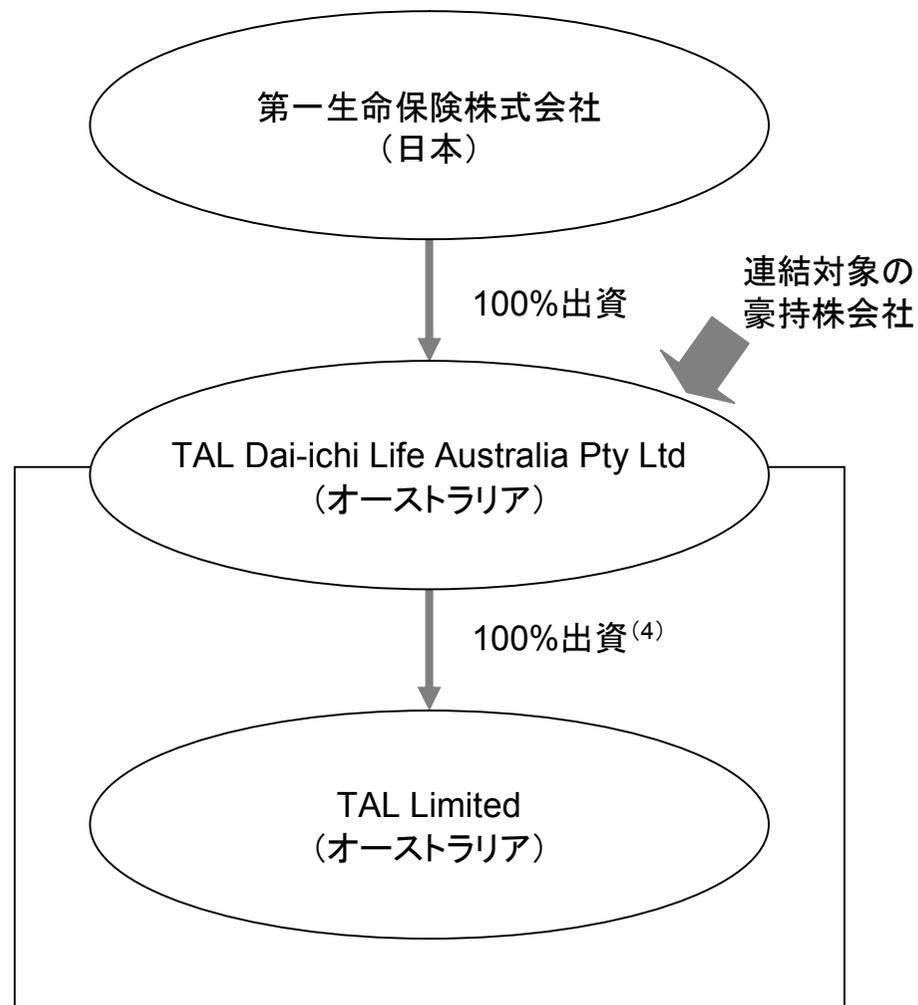
(1) 第一生命(個人保険・個人年金保険)、第一フロンティア生命、TAL Limitedの合算ベース

利益指標

(百万豪ドル)

	10年 4～9月 ⁽²⁾	10年10月～ 11年3月 ⁽²⁾	11年 4～6月
経常収益	829	860	480
うち保険料等収入	653	684	385
資産運用収益	23	118	5
その他経常収益	152	57	89
経常費用	725	834	452
保険金等支払金	423	460	274
責任準備金等繰入額	69	138	35
資産運用費用	10	11	16
事業費	192	193	106
その他経常費用	30 ⁽³⁾	30 ⁽³⁾	20 ⁽³⁾
経常利益	103	26	27
法人税等	44	10	11
当期純利益	59	15	15
修正利益 (Underlying Profit) ⁽¹⁾	52	40	21

出資スキーム



(1) 修正利益＝当期純利益±(負債割引率の変化による影響)±(一部運用商品における損益計上時期のずれによる影響)±(期待運用収益と実績の差異)+(償却負担)
 (2) 試算値
 (3) 無形固定資産(支配獲得時の保有契約から将来発生する利益)の償却額9百万豪ドル(10年4～9月)、9百万豪ドル(10年10月～11年3月)、6百万豪ドル(11年4～6月)を含む
 (4) TAL Dai-ichi Life Group Pty Ltdを通じた100%出資

第一生命

金融市場への感応度(2011年6月末)

	感応度 ⁽¹⁾⁽²⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾⁽³⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 2,100億円(2,200億円)の増減	日経平均株価 ¥8,500 (¥8,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 1,700億円(1,600億円)の増減	10年国債利回り 1.5% (1.5%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 220億円(200億円)の増減	ドル/円 \$1 = ¥86 (¥87)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) ()の数値は2011年3月末の水準

(3) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

第一生命

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。